

# 日本画

【佐藤太清賞】



高橋 諒 「That reminds me.」

# 第17回福知山市

【佐藤太清賞】

# 絵画



本間 由佳 「繋—見えない糸—」



澤本 美優 「靴—青い空」



浅野 琴 「血管」

# 佐藤太清賞公募美術展

2017.12.23(土・祝)～2018.1.14(日)

福知山市佐藤太清記念美術館

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日/火曜日、年末年始(12月28日(水)～31日(土)及び平成30年1月4日(水)～6日(土))  
入館料/大人210円・子ども100円 特選以上と市制施行80周年記念賞及び福知山市近郊の作品のみ展示

福知山会場

2018.1.19(金)～21(日)

午前10時～午後6時 期間中無休

福知山市厚生会館 入場無料

横浜会場

2018.1.26(金)～29(月)

午前11時～午後6時 期間中無休

横浜赤レンガ倉庫1号館 入場無料

東京会場

2018.2.22(木)～25(日)

午前9時30分～午後5時 期間中無休

成増アクトホール 入場無料

名古屋会場

2018.3.6(火)～11(日)

午前10時～午後6時(11日は午後5時まで) 期間中無休

名古屋市民ギャラリー矢田 入場無料

京都会場

2018.3.14(水)～18(日)

午前10時～午後6時(14日は午後1時から、18日は午後5時まで) 期間中無休

京都文化博物館 入場無料

## ■審査員(順不同、敬称略)

絹谷 幸二 畑 智子  
草薙 奈津子 福田 千恵  
大矢 鞆音 村居 正之  
安田 晴美

## ■審査作品

絵画の部 98点

日本画の部 61点

## ■入賞・入選作品

絵画の部 40点

日本画の部 29点

主催/京都府福知山市・福知山市佐藤太清記念美術館

共催/横浜赤レンガ倉庫1号館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)  
名古屋市民ギャラリー矢田(公益財団法人名古屋市文化振興事業団)

後援/文化庁・京都府・京都府教育委員会・東京都板橋区  
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団・公益財団法人名古屋市文化振興事業団・京都文化博物館(公益財団法人京都文化財団)  
朝日新聞京都総局・毎日新聞京都支局・読売新聞京都総局・産経新聞社京都総局・NHK京都放送局・京都新聞・KBS京都  
両丹日日新聞社・神奈川新聞社・tvk(テレビ神奈川)

問合せ

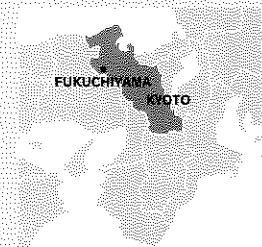
「佐藤太清賞公募美術展」事務局 TEL.0773-23-7021  
福知山市佐藤太清記念美術館 TEL.0773-23-2316

<http://www.f-artcontest.com>

SATO TAISEI PRIZE  
ART EXHIBITION IN FUKUCHIYAMA



## 第17回 福知山市 佐藤太清賞公募美術展



京都府福知山市出身の文化勲章受章者 故 佐藤太清画伯は、現代日本画壇の重鎮として後進の育成にも心を注がれ、現在第一線で活躍する多くの日本画家を送り出されてきました。

福知山市は、その功績を讃え、その志を受け継ぐため、21世紀の芸術文化を担う人材の育成を目的として、高校生・大学生を中心に全国から絵画作品の一般公募を行っています。

今回は、絵画の部98点、日本画の部61点の審査作品の中から、佐藤太清賞、特選、入選に選ばれた69点(絵画の部40点、日本画の部29点)を展示いたします。

## 絵画の部 総評

文化功労者・洋画家・日本藝術院会員・東京藝術大学名誉教授

絹谷幸二

第17回を迎えた佐藤太清賞公募美術展絵画の部は出品点数も多くなり、活気あふれる審査会場となった。

太清賞の本間由佳さん「繫一見えな糸」は、美しい画面中央にうづくまる人物の位置を定め、糸が絡まり、どこかに孤独感が漂う現代の若者の姿をとらえた秀作となった。

また、澤本美優さん「靴ー青い空」の網上靴に映る晴空はさすががしく、戦場の汚れた靴ではない。しあわせ感があるのも時代をよく写し取っているといえる。

そして、同じく太清賞の浅野琴さん「血管」は、春の桜の園で舞い踊る人物のムーブマンがいかに楽しげで、進取の気持ちが画面に飛翔して独自性がある。

これら3作はそれぞれに優秀で第17回佐藤太清賞にふさわしい作と認められた。

福知山市長賞の宮本真冬さん「HEAVEN AND EARTH」は、画面を中央で切り分け、明暗の落差が際立っているし、板橋区長賞の久保田琳さん「反射光の行方」は、すべり台の上方から逆に上に登って来る子供だろうか、色彩感がすばらしい。横浜賞の寺田朱里さん「冬を焦がれて三百里」や、特選の松井望さん「晩餐会」は、若者らしく丁寧に身近な近況を描き込んで、油画の筆跡に確かな手ごたえを感じさせる。

また、特選の栗栖優花さん「記憶」や明田藍瑠さん「憩い」、竹本麻邑さん「屋根裏」、船越友理奈さん「犬歯」、上西花さん「実りの秋」などは、思いもつかない視点から自身のアイデアを細やかに動物や生物などに託して、丁寧に描き込んでいる。

そして、このほかにも入落を問わず画友の皆さんの若々しい力作に接し、本年も見ごたえのある審査となったことを付け加えておきたい。

## 展覧会場連絡先

## 福知山市佐藤太清記念美術館

京都府福知山市字岡ノ32-64 TEL.0773-23-2316

## 福知山市厚生会館

京都府福知山市字中ノ170-5 TEL.0773-22-4955

## 横浜赤レンガ倉庫1号館

神奈川県横浜市中区新港1-1-1 TEL.045-211-1515

## 成増アクトホール

東京都板橋区成増3-11-3-405 TEL.03-5998-6881

## 名古屋市民ギャラリー矢田

愛知県名古屋市東区大幸南1-1-10 カルポート東3階  
TEL.052-719-0430

## 京都文化博物館

京都府京都市中京区三条高倉 TEL.075-222-0888

## 日本画の部 総評

美術評論家・津和野町立安野光雅美術館館長 大矢鞆音

若い作家たちの、この展覧会の作品を拝見するとき何か新鮮な思いを抱くのです。画題からも、何かしら新しい感覚があふれ、時代の推移を感じることも多いのです。今年度の作品は応募数61点の中から29作品が選ばれました。どの作品もしっかり描けていてそれほど大きな差があるようには感じられませんでした。今回の入選作29作品の作家たちは、すべて美術大学、大学院の在校生、卒業生で、今後の画壇に登場してくる作家たちだな、という感慨を抱きました。

佐藤太清賞の高橋諒さんの「That reminds me.」は初めから審査員に好評で満票でした。柔らかな色彩、大手な構図で、惹きつけられました。技法的にも何か魅力的なものを秘めており、基底材は何だろうか、綿布なのか、土佐紙を使用しているのか、この盛り上がった線はどのような手法をとっているのだろうか、などと私はつくづく拝見しました。ともあれ新鮮な感覚を秘めた作品でした。

福知山市長賞の金澤翔平さんの「僕のポラリス」もまた、魅力的な作品で、柔らかな色彩は高橋さんに通じるもので、作品全体に胡粉をかけたような淡い色彩は好感の持てるものでした。ポラリス・北極星とは、この猫の名前なのか、などと勝手に想像させる楽しい画題であり、見飽きない作品と言えるでしょう。

板橋区長賞の藤本桃子さんの「Anthurium」の鮮やかな色彩も印象的でした。この作品の色彩は前にも見た、などというデジャブ感を勝手に抱いたのですが、何か射るような鋭さを感じる色合いで、忘れがたい作品という印象を持ちました。

横浜賞の松田桃佳さんの「其れは偽りの」は画面上部を明るく、下部をダークな色調でしっかり描いた作品で、確かな写実力を思わせるものでした。画題からどのようなことを想い描いているのかなー。若い世代の感性を想いました。

福知山市市制施行80周年記念賞の片野莉乃さんの「age:25」の、靴をデザイン的な表現で描き新しい日本画を模索、創造する感覚に時代の推移をしっかりと感じました。

総じて入選作も含めて安定感のある作品群で、次が楽しみに思えました。

## 問合せ

## 「佐藤太清賞公募美術展」事務局

〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町2-29-2  
KIKUYAビル301号 (株)ファイル21内  
TEL.0773-23-7021 FAX.0773-23-5608  
E-mail info@f-artcontest.com  
※土・日・祝日は、福知山市佐藤太清記念美術館へ  
お問い合わせください。TEL.0773-23-2316

<http://www.f-artcontest.com>